



学校報 梵天

E-mail ouchi-es@edu.city.yurihonjo.akita.jp
http://www.city.yurihonjo.lg.jp/edu/ouchi-es/index.html

由利本荘市立大内小学校 校長室から
令和5年1月20日 No. 28

令和4年度 全国・学力学習状況調査結果より

6年生を対象に行われた「全国・学力学習状況調査」の結果についてお知らせいたします。本調査の結果は学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面です。本校の結果については、4月の臨時休校措置のために後日実施をしており、全国の集計には含まれておりませんが、大内小学校の結果をいただいておりますので、結果を検討・分析し、指導に生かしているところです。

なお、由利本荘市教育委員会よりの「本市の全国・学力学習状況調査結果概要」を裏面に載せております。参考になさってください。本市の結果は、由利本荘市HPにも掲載されております。

1 調査の概要

- ・目的 全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、指導の充実や学習状況の改善等に役立てる
- ・実施日 令和4年4月19日（火） ※大内小実施日 4月27日（水）
- ・対象 小学校6年生
- ・調査内容 教科：国語、算数、理科
質問紙：学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面に関する内容

2 結果の概要（全国との比較）

○国語は秋田県と全国平均を上回っている。算数と理科は全国平均並みである。

※ 教科で課題となっている点については、全職員で共通理解し、学年に応じて以下の手立てを取りながら学習を進めています。

- ・国語：考えられることを書いたり交流したりする場を意図的に設け、読む力を伸ばす。
- ・算数：日常の具体的な生活場面と関連付けた問題に取り組み活用する力を伸ばす。
- ・理科：児童が意識して用語を使った学習の機会を増やし、理科用語の定着を図る。

○質問紙では、本校の課題であった自己肯定感の項目では「自分にはよいところがある」と答えた児童が87.5%と全国を約8ポイント上回った。

○ゲームの時間に課題が見られる（平日2時間以上使用している児童が多い）。OHCカードを活用しながら、生活を見直す機会を設ける。

令和4年度 本市の全国学力・学習状況調査結果

1 調査の概要

本調査は、児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、学習指導の改善を図る目的で、平成19年度から実施されています。全国の小学6年生と中学3年生が対象で、今年度は令和4年4月19日（火）に実施されました。

2 調査の内容

調査内容は、国語、算数・数学に加え、今年度は理科も実施され、3教科の調査となりました。学習習慣や生活習慣等に関する児童生徒質問紙調査は、昨年度より小学校、中学校とも同一の質問数、質問事項となりましたが、今年度はICT機器活用についての質問事項が増え、活用場面毎のICT機器の使用頻度等について問う内容となっています。また、各校の校長が回答する教育環境等に関する学校質問紙調査も実施されました。

3 秋田県と全国の比較（今年度も、県の平均正答率は整数値で発表されています）

〈小学6年 平均正答率(%)〉

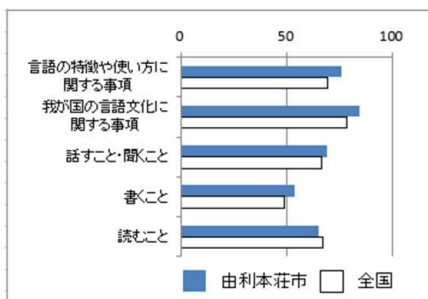
	国語	算数	理科
秋田県	71	66	71
全国	65.6	63.2	63.3

〈中学3年 平均正答率(%)〉

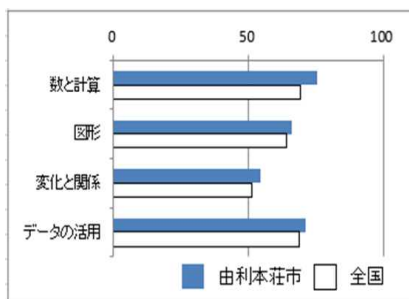
	国語	数学	理科
秋田県	73	54	52
全国	69.0	51.4	49.3

4 本市の結果について（授業改善に生かすため、領域ごとにグラフでの比較としています）

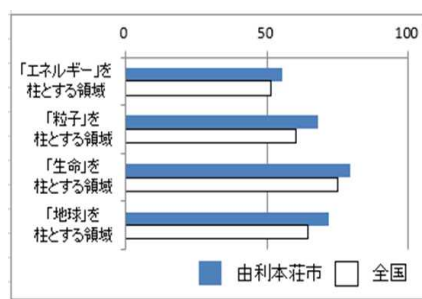
〈小学校国語〉



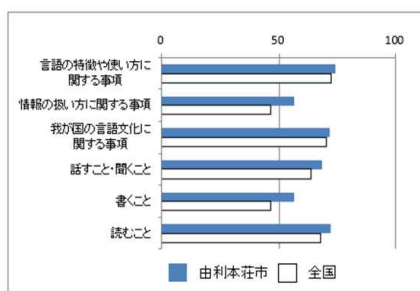
〈小学校算数〉



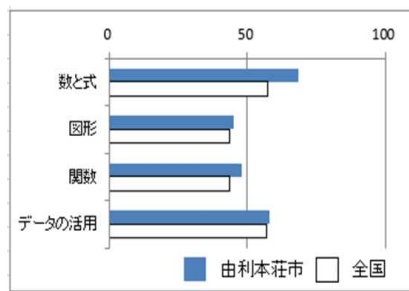
〈小学校理科〉



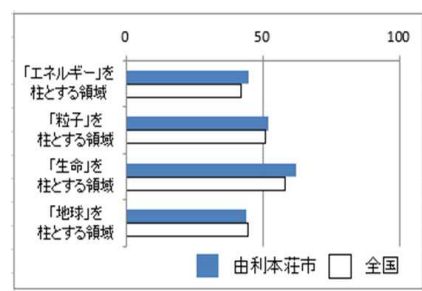
〈中学校国語〉



〈中学校数学〉



〈中学校理科〉



質問紙調査からは、「学習した内容について、分かった点や分からなかった点を見直し、次の学習につなげている」と回答している割合が高く、授業や家庭学習で振り返りが行われている様子が見えます。その一方で、小中とも放課後や週末に家でテレビや動画を視聴したり、ゲームをしたり、SNSを利用したりしている割合が高く、家庭での過ごし方を見直す機会を設定する必要があると思われます。